

令和5年度

「教育に関する事務の管理及び執行状況の 点検・評価」実施報告書

地方教育費行政の組織及び運営に関する法律（以下「法」という。）第26条に規定する教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価については、地方自治法第233条第5項に規定する主要な施策の成果を説明する書類（決算主要事業）の作成、議会への提出及び公表を行うことをもって、法第26条第1項の義務を充足しています。

令和6年9月

浪江町教育委員会

令和5年度

主要な施策の成果

福島県 浪江町

3. 民 生 費

◆児童手当

(教育総務課)

科目 3 - 2 - 2 (決算書 1 4 6 頁)

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
150,715,000	127,128,833		23,586,167

中学校修了前児童を養育している方に、家庭における生活の安定と次代を担う児童の健全な育成を図るため支給した。

○対象児童数 1,128 名

◆子ども医療費助成事業

(教育総務課)

科目 3 - 2 - 3 (決算書 1 4 6 頁)

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
14,794,224	7,981,372		6,812,852

18 歳までの子どもを養育している方に、子どもの疾病又は負傷の治癒を促進し健康の保持増進を図るため助成を行った。

受給者数			県補助名	備考
・ 未就学児	304 名	2,851 件	福島県乳幼児医療費助成事業補助金	補助額 1/2 ※1 レセプトあたり 千円控除後
・ 小学 1～3 年生	195 名	1,326 件	—	町一般財源
・ 小学 4 年生～18 歳	588 名	2,611 件	福島県子どもの医療費助成事業補助金	補助額 10/10

◆屋内アスレチック施設運営事業（新規事業）

（教育総務課）

科目 3 - 2 - 4（決算書 146 頁）

事業費 （円）	左の財源内訳（円）		
	国県支出金	特定財源	一般財源
23,411,161	15,379,000	220,800	7,811,361

子どもたちが安全に運動できる場所として整備した「ふれあいげんきパーク」の維持管理及び運営を行った。

○利用者数

	キッズスペース	ボルダリング	合計
令和 5 年度	11,015 名	1,047 名	12,062 名

○主な事業費の内訳

消耗品費	657,535 円
光熱水費	4,059,390 円
施設運営委託料	16,671,479 円
備品購入費	130,000 円

◆子育て世帯住宅支援補助事業

（教育総務課）

科目 3 - 2 - 4（決算書 148 頁）

事業費 （円）	左の財源内訳（円）		
	国県支出金	特定財源	一般財源
5,538,000	2,759,000		2,779,000

町内賃貸住宅に居住する子育て世帯に家賃補助を行った。自己負担家賃の 2 分の 1 の額で、上限は月 30,000 円。

○助成実績

・ 32 世帯 5,538,000 円

◆保育料助成事業

(教育総務課)

科目 3 - 2 - 4 (決算書 1 4 8 頁)

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
8,728,263	8,728,263		

原発事故の避難により、児童が他自治体の保育所等に入所した際の保育料を助成した。

○対象児童数 (実人数)

- ・ 県内 41 名
- ・ 県外 4 名

◆出産祝い金支給事業

(教育総務課)

科目 3 - 2 - 4 (決算書 1 4 8 頁)

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
5,150,000	5,150,000		

次代を担う児童の健全な育成を図ることを目的に出産祝い金を支給した。

○支給件数

- ・ 第 1 子、第 2 子 31 件 5 万円/名
- ・ 第 3 子以降 18 件 20 万円/名

◆認定こども園運営事業

(教育総務課)

科目 3 - 2 - 5 (決算書 148 頁)

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
130,592,939	964,441	77,478,799	52,149,699

浪江にじいろこども園にて、0～5 歳児の保育を行った。

○園児数の推移

H30.4.1	H31.4.1	R2.4.1	R3.4.1	R4.4.1	R5.4.1
11 名	9 名	18 名	27 名	32 名	43 名

○一時預かり保育利用者数 (のべ人数)

- ・ 浪江町民 122 名
- ・ 町外の方 29 名

◆低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金 (その他世帯分)

(教育総務課)

科目 3 - 2 - 6 (決算書 152 頁)

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
12,950,000	12,300,000		650,000

食費等の物価高騰等に直面し、影響を受ける子育て世帯に対し、その実情を踏まえた生活の支援を行う観点から、子育て世帯生活支援特別給付金を支給した。

○支給額 対象児童一人につき 5 万円

○支給件数 135 件

○支給対象児童数 259 名

4. 衛 生 費

◆母子保健事業

(健康保険課・教育総務課)

科目 4 - 1 - 4 (決算書 162 頁)

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
16,187,683	8,895,500		7,292,183

県内での乳児訪問・妊産婦訪問を行い、乳児の発達確認や母親の健康状態の把握、育児相談等を行うとともに、各種乳幼児健康診査の受診確認を行い、未受診児への受診勧奨に努めた。

国の出産・子育て応援交付金による事業を受け、出産応援給付金・子育て応援給付金支給を行った。また、養育のため指定医療機関に入院することを必要とする未熟児に対し、医療費給付を行った。

○実施状況

(単位：人)

事業名	対象者	受診者数
乳児家庭訪問	生後 1 か月～2 か月児	44
乳幼児健診	3 か月～12 か月児	87
1 歳 8 か月健診	1 歳 8 か月～1 歳 10 か月児	62
3 歳 6 か月健診	3 歳 6 か月児	63
乳幼児家庭訪問(健診事後)	生後 3 か月～就学前	20
妊婦健康相談 (母子手帳交付)	妊婦	43
妊婦健診 (前期)	妊婦	36
〃 (後期)	妊婦	43
妊産婦家庭訪問	妊婦・産婦	65
出産応援給付金	妊婦	42
子育て応援給付金	産婦	43
未熟児療育医療給付	未熟児	1
計		549

10. 教 育 費

◆なみえ創成小・中学校制服等支給事業

(教育総務課)

科目 10 - 1 - 2 (決算書 218 頁)

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
2,117,698			2,117,698

子育て世帯の町内生活の負担を緩和し、帰還・居住促進を図るため、なみえ創成小・中学校に通学する児童生徒の保護者を対象に制服等の支給を行った。

○支給実績

- ・ 小学校 48 名 789,470 円 (体操着等 48 名)
- ・ 中学校 28 名 1,328,228 円 (制服 10 名、体操着等 28 名)

◆遠距離通学費助成事業

(教育総務課)

科目 10 - 1 - 2 (決算書 218 頁)

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
99,682			99,682

保護者の通学に要する経費の負担軽減と町内への帰還・居住促進を図る観点から、町内から県内の県立高等学校に通学する生徒の保護者に通学費を助成した。

○助成実績

- ・ 高等学校 2 名 99,682 円

◆A L T派遣事業

(教育総務課)

科目 10 - 1 - 5 (決算書218頁)

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
5,610,000		3,910,000	1,700,000

外国語指導助手(A L T)との学習機会を設け、児童生徒の語学力向上と国際感覚醸成を図るため、民間より派遣されたA L Tの配置を行い、児童生徒が身近で「生」の英語に触れられるよう教育環境の向上を図った。

○A L T派遣 1名 5,610,000円

※派遣期間 令和5年4月1日～令和6年3月31日

◆学習支援事業

(教育総務課)

科目 10 - 1 - 7 (決算書220頁)

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
7,130,315	4,048,577		3,081,738

放課後の子どもたちの安全な居場所の確保と、保護者の就労支援、地域で子どもを育む環境を充実させ、子どもが自ら学ぶ力を身につけることを目的に放課後子どもクラブの運営を行った。

○利用人数：48人

◆スクールのバス運行（震災関連事業）

（教育総務課）

科目 10 - 2 - 1（決算書 220 頁）

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
13,864,270	13,815,070		49,200

なみえ創成小・中学校に在学する児童・生徒の通学対策として、自宅から学校までのスクールバス運行を行った。

○運行回数 延べ 828 回

（町有スクールバス運行【4 台】621 回、業務委託運行【1 台】207 回）

◆グローバル人材育成事業

（教育総務課）

科目 10 - 2 - 2（決算書 224 頁）

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
1,550,265			1,550,265

なみえ創成中学校に在籍する中学 1 年生から 3 年生までを対象に、生徒が異文化体験を通じて英語や異文化に触れることの楽しさを感じると共に、無限の可能性に満ちた自らの将来について考えるきっかけを作り、浪江町民としての誇りを持った将来リーダーとなり得るグローバルな人材の育成を目的に実施した。

○研修日程、参加者

- ・令和 5 年 8 月 7 日（月）～8 月 9 日（水）2 泊 3 日
- ・中学 1～2 年生：男子 2 名＋女子 5 名＝合計 7 名参加
- ・引率 3 名（浪江町教育委員会）

○TOKYO GLOBAL GATEWAY の概要と研修内容

・TOKYO GLOBAL GATEWAY（TGG）とは東京都教育委員会が開設した様々な英語プログラムを提供する最新体験型英語学習施設。日常から離れ、海外をイメージして作られた街並みで普段とは違う環境のなか、グローバルな世界を存分に体験することができる魅力の研修施設。

●1 日目（半日コース）

①エアポートゾーンでの体験、②多文化理解の体験

●2日目（1日コース）

③トラベルゾーンでの体験、④ショートムービーを作成体験

⑤日本にしながら留学体験、⑥プログラミング体験

◆なみえ創成小・中学校魅力化事業

（教育総務課）

科目 10 - 2 - 2、10 - 3 - 2（決算書224頁、226頁）

事業費 (円)	左の財源内訳（円）		
	国県支出金	特定財源	一般財源
4,262,358	2,177,816		2,084,542

なみえ創成小・中学校の魅力ある学校とするため、学校と地域の方々が共働
し、浪江の伝統文化の学習を取り組み、ふるさと教育や伝統文化の継承、多世
代交流を図った。

また、勉強だけではなく、子どもたちの自主性、協調性、考える力、コミュ
ニケーション力などを育むため、外部の講師を招聘し演劇ワークショップや哲
学対話などの授業を行った。演劇ワークショップでは、創造的な思考に触れ表
現力やコミュニケーション力など、よりよく生きるために必要な手法を学び、
哲学対話では、哲学的な思考を通じて対話を行い、お互いの違いを認め、共通
の課題に対して考えを深め人間力の醸成を図った。

○実施事業

・演劇ワークショップ・哲学対話・なみえ焼そば作り・大堀相馬焼・紅葉汁
作り・かぼちゃ饅頭作りなど

◆就学援助事業（震災関連事業）

（教育総務課）

科目 10 - 2 - 2、10 - 3 - 2（決算書 224 頁、226 頁）

事業費 （円）	左の財源内訳（円）		
	国県支出金	特定財源	一般財源
8,702,448	8,461,807		240,641

東日本大震災に起因して経済的に就学困難となった児童生徒の保護者に対し、就学に必要な学用品・給食費にかかる経費の一部援助を行った。なお、避難先自治体にて就学援助事業を行っている場合は、当該事業を優先させた。

○援助の状況

（単位：人）

援助人数	小学校	中学校	計
	60	34	94
うち福島県内	59	34	93
うち福島県外	1	0	1

◆二十歳を祝う会の開催

（生涯学習課）

科目 10 - 5 - 1（決算書 228 頁）

事業費 （円）	左の財源内訳（円）		
	国県支出金	特定財源	一般財源
389,957			389,957

令和 6 年 1 月 6 日（土）に、浪江町地域スポーツセンターにおいて、二十歳を祝う会を開催し、新たな門出を祝った。

○対象者数	179 名	うち出席者数	男性	20 名
			女性	10 名
			合計	30 名

（東日本大震災当時小学 1 年生）

◆ふれあい交流センター運営事業

(生涯学習課)

科目 10 - 5 - 1、10 - 5 - 3
(決算書228頁、232頁)

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
40,707,135	316,977	13,158,408	27,231,750

町民の健康の増進と地域コミュニティの創出の場所として、施設の維持管理及び運営を行った。

○令和5年度 利用状況一覧

会議室等	上半期 (4月～9月)	下半期 (10月～3月)	合計
稼働日数	183日	177日	360日
利用者数	2,583人	3,241人	5,824人

図書館	上半期 (4月～9月)	下半期 (10月～3月)	合計
稼働日数	131日	131日	262日
利用者数	2,179人	2,291人	4,470人
貸出冊数	6,528冊	6,816冊	13,344冊

- ・図書資料 32,446冊
- ・視聴覚資料 (DVD) 610点
- ・視聴覚資料 (CD) 1,168点

◆埋蔵文化財発掘調査事業（震災関連事業）

（生涯学習課）

科目 10 - 5 - 2（決算書230頁）

事業費 （円）	左の財源内訳（円）		
	国県支出金	特定財源	一般財源
485,364,000	362,059,000		123,305,000

浪江町内の復興に向けた環境整備を行うにあたり、埋蔵文化財の本発掘調査及び調査報告書作成を実施し、埋蔵文化財の保護と開発事業の両立を図った。

○主な調査実績

- ・本発掘調査 棚塩字弥平迫地内(弥平迫遺跡・第3次) 375,969,000 円
- ・試掘調査 末森字仁田久保地内(末森地区・第2次) 2,618,000 円
- ・調査報告書作成 棚塩字弥平迫地内(弥平迫遺跡・第2次)106,777,000 円

◆文化財保護事業

（生涯学習課）

科目 10 - 5 - 2（決算書230頁）

事業費 （円）	左の財源内訳（円）		
	国県支出金	特定財源	一般財源
3,135,000	2,351,250		783,750

緑の文化財である「大聖寺のアカガシ樹群」のカシノナガキクイムシからの被害を防ぐために防除事業を行った。

◆文化財収蔵事業

(生涯学習課)

科目 10 - 5 - 2 (決算書230頁)

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
5,390,000			5,390,000

仮保管していた遺物等を文化財収蔵庫へ運搬・収蔵した。

○収蔵内容

- ・ 考古資料 (出土品) コンテナ 1,450 箱
- ・ 民俗資料 (農具・民具等) 170 点
- ・ 文書資料 (古文書・関係書類)・書籍類 (発掘調査報告書) 720 点
- ・ 美術品類 (絵画・写真) 35 点

◆郷土芸能復興支援事業 (震災関連事業)

(生涯学習課)

科目 10 - 5 - 2 (決算書232頁)

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
1,650,000			1,650,000

東日本大震災の影響により郷土芸能の継承が困難になっているため、各地区の芸能保存会に対し、用具の新調・修理や交通費等の経費の補助を行った。また活動が困難な団体については、用具類を預かり保管を実施した。

○本事業における補助採択芸能の団体 6 団体

- ・ 樋渡・牛渡芸能保存会 (神楽)
- ・ 南津島郷土芸術保存会 (田植踊)
- ・ 樋渡・牛渡田植踊り保存会 (田植踊)
- ・ 請戸芸能保存会 (田植踊)
- ・ 大堀芸能保存会 (神楽)
- ・ 請戸神楽保存会 (神楽)

◆震災遺構運営事業（震災関連事業）

（生涯学習課）

科目 10 - 5 - 4（決算書 232 頁）

事業費 （円）	左の財源内訳（円）		
	国県支出金	特定財源	一般財源
16,113,099	370,289	15,742,810	

地震と津波、及び原子力災害の教訓を後世に伝えるために整備した震災遺構浪江町立請戸小学校の維持管理及び運営を行った。

来館者数

（人）

	一般	高校生	小中学生	その他	合計
令和 5 年度	52,102	4,086	7,279	1,081	64,548
累 計	110,743	10,692	14,352	2,859	138,646

◆生涯学習推進事業

（生涯学習課）

科目 10 - 5 - 5（決算書 234 頁）

事業費 （円）	左の財源内訳（円）		
	国県支出金	特定財源	一般財源
5,462,794	2,966,958		2,495,836

町内では地域コーディネーターを配置し、子どもたちが学校以外の場所で自然とふれあう活動を行いながら、友達と仲良く、また心身ともに健全に成長を支援するため各教室を行った。

また、全町民を対象とした生涯学習事業として各講座を開催し、町民同士の交流や学びにつなげた。あつまっぺ交流館（福島市）や町内施設において、専門講師によるハワイアンキルト教室及び絵手紙教室などの町民向けの生涯学習出前講座を開催した。

○子ども週末チャレンジ 5 事業 参加者 延べ 47 名

- ・ ナイトライブラリー
- ・ 畑体験
- ・ 海体験
- ・ 雪山体験
- ・ 遺跡発掘体験

○親子ふれあいチャレンジ 4 事業 参加者 延べ 56 名（18 家族）

- ・ パパママ DIY
- ・ 親子遠足
- ・ レジン教室
- ・ アイシングクッキー

- 地域ふれあいチャレンジ 7事業 参加者 延べ 236 名
- ・ 吾妻小富士ハイキング&フルーツ狩り
 - ・ お茶講座
 - ・ 男の料理教室
 - ・ 珈琲講座
 - ・ 大人のナイトライブラリー
 - ・ 霊山登山
 - ・ クリスマス音楽祭

- なみえカルチャースクール 12 事業 延べ 449 名
- ・ 英会話教室
 - ・ なみえを学ぼう
 - ・ ヨガ教室
 - ・ ストレッチ教室
 - ・ 大堀相馬焼陶芸体験
 - ・ 藍染体験
 - ・ フラワーアレンジメント
 - ・ ニュースポーツ体験（モルック・ファミリーゴルフ・ディスクゴルフ）
 - ・ 竹細工教室
 - ・ つまみ細工教室
 - ・ 基礎から学ぶダンス
 - ・ ボイストレーニング

- 地域ふれあいチャレンジ&子ども週末チャレンジコラボ 1 事業 20 名
- ・ もちつき&芋煮会

- 出前講座 4 事業 延べ 56 名
- ・ ハワイアンキルト教室
 - ・ 絵手紙教室
 - ・ 習字サロン
 - ・ 歌唱教室

◆社会体育施設運営事業

（生涯学習課）

科目 10 - 6 - 2（決算書 236 頁）

事業費 （円）	左の財源内訳（円）		
	国県支出金	特定財源	一般財源
40,441,046	125,167	2,326,000	37,989,879

町民の健康の増進と地域コミュニティの創出の場所として、施設の維持管理及び運営を行った。

○令和 5 年度 利用状況一覧

秋桜アリーナ	上半期 （4 月～9 月）	下半期 （10 月～3 月）	合計
稼働日数	183 日	177 日	360 日
会議室	125 件	136 件	261 件
サブアリーナ	79 件	110 件	189 件
メインアリーナ	125 件	134 件	259 件
トレーニングルーム	3,523 人	3,210 人	6,733 人

ふれあいグラウンド	上半期 (4月～9月)	下半期 (10月～3月)	合計
稼働日数	183日	177日	360日
グラウンド	93件	59件	152件

◆復興海浜緑地（多目的広場）整備事業（震災関連事業）

（生涯学習課）

科目 10 - 6 - 2（決算書238頁）

事業費 (円)	左の財源内訳（円）		
	国県支出金	特定財源	一般財源
433,221,620	6,097,000	424,600,000	2,524,620

賑わいあふれる交流の場としてパークゴルフ場を整備するため、積算業務を実施し、造成工事に着手した。

◆町営高瀬野球場復旧事業（震災関連事業）

（生涯学習課）

科目 10 - 6 - 2（決算書238頁）

事業費 (円)	左の財源内訳（円）		
	国県支出金	特定財源	一般財源
68,697,711	67,457,213		1,240,498

東日本大震災及び原子力災害による長期管理不能により、著しく劣化している状況にある町営高瀬野球場の機能を回復するため、土木工事を実施した。

◆保健体育事業

(生涯学習課)

科目 10 - 6 - 4 (決算書 240 頁)

事業費 (円)	左の財源内訳 (円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
7,341,492			7,341,492

野球、ソフトボール、駅伝といった県内の各種市町村対抗の大会へ出場する選手へのサポートを実施した。

○市町村対抗等町外大会参加状況

大会名	大会日	場所	参加者	備考
双葉郡スポーツ交流大会	7月2日	富岡町、 檜葉町	8 町村	野球 優勝 バスケットボール 準優勝 ソフトテニス 3位 バレーボール 出場 グラウンドゴルフ 出場 剣道 出場
県民スポーツ相双大会	9月3日	新地町 相馬市	12 市町村	壮年ソフトボール Aブロック 優勝 ソフトテニス 3位 9人制バレーボール 出場
市町村対抗福島県軟式野球大会	9月9日 9月23日 9月24日	県営あづま 球場他	59 市町村	(1回戦) 対金山町 ○ (16-1) (2回戦) 対南会津町 ○ (4-3) (3回戦) 対いわき市 ● (0-4)
市町村対抗福島県ソフトボール大会	10月14日 10月22日	相馬光陽 ソフトボ ール場	55 市町村	(1回戦) 対平田村 ○ (11-1) (2回戦) 対郡山市 ● (3-6)
ふくしま 駅伝	11月19日	しらかわカ タールスポ ーツパーク (白河市) から福島県 庁前(福島 市)まで	52 チーム	全体 28 位

12. 特別会計の状況

文化及びスポーツ振興育成事業特別会計(生涯学習課)

(決算書 250頁)

令和5年度文化及びスポーツ振興育成事業特別会計決算額は、歳入 939,013 円、歳出 505,013 円で、前年度と比較して、歳入が△539,987 円(△36.5%)の減額、歳出が△539,987 円(△51.7%)の減額となった。歳出の主なものは、各種大会への出場が増加したこともあり、負担金補助及び交付金 440,000 円(前年度 375,000 円)で、前年度と比較して 65,000 円(17.3%)の増額となった。

○歳入歳出の状況

【歳入】

(単位：円、%)

区 分	令和5年度 A	令和4年度 B	増 減 A－B	増減率
文化及びスポーツ振興基金 繰 入 金	500,000	1,040,000	△540,000	△51.9
繰 越 金	434,000	434,000	0	－
財 産 収 入	5,013	5,000	13	0.3
歳 入 合 計	939,013	1,479,000	△539,987	△36.5

【歳出】

(単位：円、%)

区 分	令和5年度 A	令和4年度 B	増 減 A－B	増減率
交 際 費	0	0	0	－
需 用 費	0	0	0	－
負 担 金 補 助 及 び 交 付 金	440,000	375,000	65,000	17.3
積 立 金	65,013	670,000	△604,987	△90.3
予 備 費	0	0	0	－
歳 出 合 計	505,013	1,045,000	△539,987	△51.7

◆文化及びスポーツ振興育成事業助成金

科目 2 - 1 - 1 (決算書 252頁)

事業費 (円)	左の財源内訳(円)		
	国県支出金	特定財源	一般財源
440,000		440,000	

浪江町文化及びスポーツ振興基金を活用し、町の文化及びスポーツ活動の振興と育成を図るため活動団体等へ助成金を交付した。

○助成内容

(単位:件、円)

区 分	事業名	種別	件数	助成額
スポーツ事業	各種大会出場事業	全国大会	11	280,000
		東北大会	3	80,000
	スポーツ大会開催事業	単一種目大会開催事業	1	30,000
文化事業	成果発表事業	生活文化	1	50,000
		計	16	440,000